

**【特別回】逗子の未来協議会 グループワーク「市民巻き込み大作戦」  
まとめ**

**【第1班】**

- PR (by 行政)
  - ・知らない人に対して
- 若い世代へ “若い人主導” メディア
- ◎ 関心の高いテーマ
  - ↑
  - ・ 共通
  - ・ 身近な
  - 危機意識！ ex：防災
- 仲間 (出会い！) (チャンス)
  - ↑おもしろい
- 場
- 住民自治協議会の利用
  - 小学校区 -PTA、子ども会

**【第2班】**

- 若い人がどのようにしたら参加すべきか
- ★ 時間的な制約がないもの ⇒負担がある (子育てしている人もいる) 家事・育児が優先
- それぞれにあった集まる方法を 数を打つべき
- 共通点を見つけるべき
- 共有するところがあるはず
- 今日集まっている人のみだけの声が声ではない。個々、各々の参加しているプロジェクト・集まりから声を拾っては？
- 58,000 人の意見を聞くのは難しい。
- 市民まっりのボランティアなどで話すべき
- 無作為で集めましたという手紙で参加した、するというのは面白い。
  - ↳ で集めて話す。 → 自ら勇気がいるので
- ◇ 一生懸命やっても、お上の意向で全てリセットされてしまうという無力感 (参加したくなくなる) モチベーションの低下、共通認識、行政・議会への不信
- 何が話されているのかと思った

- 議員は誰も来ない（警戒している）、反対している人も多い、反省していない
- ★年代別での参加方法を考えた方がよい。年齢が高い方は立ち話ないから  
年齢が若い方はWebで  
(ある種の抵抗感はある)
- ◆ 行政・議会が市民の声を取り入れる姿勢ということが一番大事
- 来てもらえれば分かるのになぜ？
- ◆ 議会巻き込み大作戦では？

### 【第3班】

- 市政の情報公開を共有化  
ツールはあるが、実効性が…。
- 大規模、広範囲から、**小規模**、**身近な**、**共通の話題**（自治会・町内会）

↓  
過去の事例の整理、実証  
成功例

- 「逗子の未来協議会」テーマが広すぎて市民の参加、共有化困難
- **身近なテーマであれば巻き込みやすいが、自治基本条例設計までつなげる全体設計、仕組みが課題**

↓  
これを「逗子の未来協会」で協議してはどうか

- 自治会同士で本テーマを議論すれば、web配信、印刷物の配布より効果的では？  
⇒自治会各役員に「逗子の未来協議会」活動を知らせ、**自治会内で議論**しては？  
⇔自治会のバラツキの問題 ex: ゴミ問題、空き家問題
- 自治体同士のネットワーク

### 【第4班】

- ① 地方自治の自治と自治会  
(町内会)の自治は違う。自治会(町内会)は政治的に中立であり政治的意見を言える地方自治とは別である。「自治」の定義、内容を決めよう。
- ② 市民一人一人の「自治」のためには、各人の自覚を発揮する環境が必要だ。住居侵入、業務妨害などのないよう防犯カメラの充実などが急務である。
- ③ 小学校区単位の地域住民協議会は小学校運営のためには良いが、逗子市の自治の組織とは言えない。

## 考え方の道筋の1つ

- ① 現在の市民生活の中で“自治がない”ということだけで特に困ることはない。  
(一般的な認識)、そこから出発して考える方法もある
- ② では、“自治”があることで、住民の日常生活の何がより良くなるのか(目的性)  
(悪化を minimize するか)
- ③ では、その目的のための“自治”とはどういう内容か?(あるべき自治の内容)
- ④ では、そのためには(それを担保するために) どのような自治のシステム=仕組みが求められるのか

## 【第5班】

- 予算ストップは本当にショック
- 20年後、30年後逗子に住むのは子ども・孫世代。本当に巻き込んでいかなくてはいけない
- 世代によって役割がある
  - 高齢者=経験が語れる
  - 30歳以下=夢が語れる
- 市民にとって良いことなのか
  - ↓
  - 自治基本条例を作ることが ⇒良いことではないかもしれないとも思いだした窮屈になると感じる人もいるのでは
  - ↑
  - 市長は行政をしぼる意味もあると考えている
  - 勝手に市が、議会がやるということをも市民からウオッチしやすくなると考えている
- ソフト面を充実させる
  - ↓
  - 海・山のハード面だけじゃない逗子
  - ↓
  - 逗子をどんな街・市なのか
  - どんな街・市にしたいのか?
  - ということが大事なのでは?
- 逗子市は今どんな状態なのかを分かりやすく知りたい
  - ↓
  - 例えば、逗子市が会社だとしたら今はどんな状況?潰れそうな会社、10年後も成長している会社?そういうことが分かれば市民の方も考えることや判断できるのでは?
  - 単純に巻き込まれたくない。

## 【第6班】

### どのように

広報等見る時間がなかった

ex: 税収減とか知る機会ない

◎現状をありのまま過激に伝える ⇒ 発信

自治会合等まとまって会をもつ

ex: 様々な団体が一同に集う

◎⇒一同に会す既存の団体

動機、えさ的

ex: 高校生は A0 入試で使えるきっかけ → PR

(自治会活動でも使える手法

⇒若手の意見

◎中学校・高校に協議課の参加者が入っていく。

生徒に語りかける → 協議会

自治会にも呼ぶ

↑

時間の確保、市立中学校に働き掛け ⇒ 厳しい

生徒会、会長等集める

⇒ 具体策

学校の先生

まちづくりト  
ークに参加し  
てもらう

- 日程が分かっている。空けることはできる。

### 課題

年齢層幅広く → 10代、中・高生

逗子の将来を考える

### 協議会存続策

ワークショップ ← 市長がつくった

↑ 別物

市民がつくる

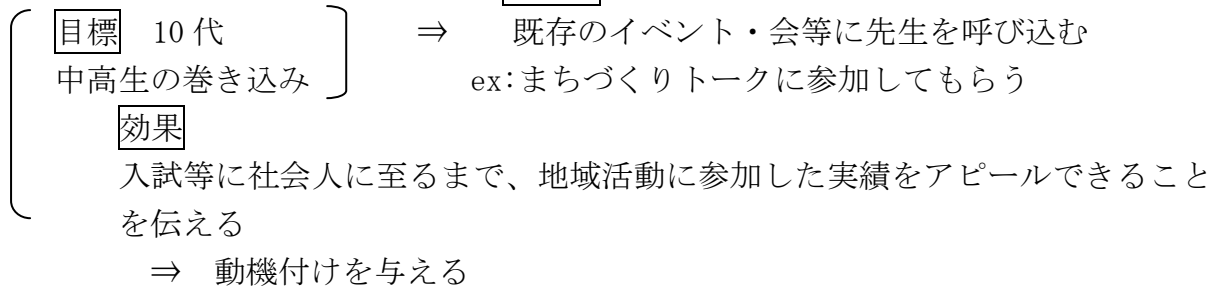
### 概要

<自治会関係>

- 様々な既存団体が一同に会し議論
- 学校活動の一環（地域活動）として生徒が入っていく  
つなげる

<学校関係>

- 協議会のメンバーが中高のカリキュラムに入って現状を伝えていく  
つなげる



**【第7班】**

市民参加大作戦

<方法>

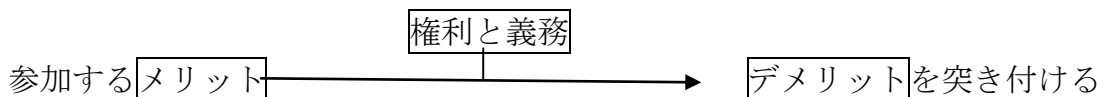
- 地べた作戦 人に伝える
- 店舗で掲示
- 行政メール
- HP・広報 改善（目次）

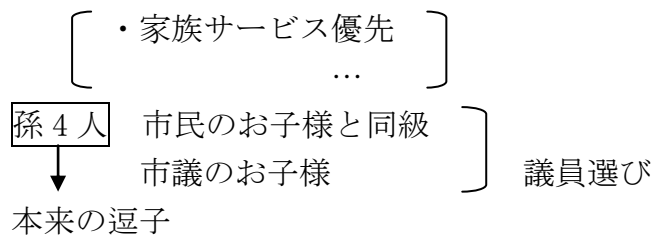
<内容>

- 参加するメリット、デメリット
- 危機感をもっている人に伝える
- 孫の代など、未来の逗子のため

市民参加 — 無理?! なんじゃない ⇒意味を見出す  
『市民条例』読んだ?  
市長の人気?  
議員 22人 → 17人

- 最低5人に伝える（地べた）声かけ
- 掲示板
- メール（防災、防犯）
- 週間紙（目次）
- HPは見にくい、広報も
- 危機感をもっている人
- 店舗 ⇒





議会は市民が選んだもの  
逗子市民条例

市民参加は行政がやる



内に困る人がいるのではないか？  
検討委員会、有識者（報酬）

現参加者の情報不足



一度遊びと思って調べてみよう